

別添 3

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園・国定公園等整備事業））

都道府県名		山梨県		対象地域名		ハヶ岳中信高原国定公園			評価年度		令和6年度	
事業実施期間		令和2年度～令和5年度				事業費		275,847千円		(うち国費124,129千円)		
事業の実施内容		本事業は、ハヶ岳中信高原国定公園の美し森観音平線道路（歩道）整備事業において、平成12年に設置された木製歩道の老朽化に伴い、安全性の確保及び来訪者の利便性向上を目的として、歩道の再整備を実施したものである。 既存の木製歩道は、経年劣化により一部破損や腐食が見られ、利用者に対する事故・怪我の危険性が高まっていたほか、快適な歩行環境の喪失により来訪者の満足度が低下し、地域への来訪意欲の減退を招く要因となっていた。 このため、本事業では、自然環境との調和を図りつつ、安全で快適な歩行空間の確保を目的として、木製歩道の全面的な改修を行った。整備にあたっては、耐久性に優れた資材を用いるとともに、景観への配慮を行い、地域の魅力向上及び観光振興に資する施設整備を推進した。										
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		本事業により美し森観音平線道路の木製歩道を再整備した結果、令和元年度における来訪者数は12,766人であったが、完成翌年度にあたる令和6年度には、目標値として設定していた15,000人を上回る18,040人の来訪者を記録した。 来訪者数の増加要因としては、以下の点が挙げられる。 ・再整備により景観を楽しみながら安全に散策できるようになり、自然環境を楽しめる魅力が高まったこと。 ・従来から利用されていた学校の校外学習において、再整備後の安全性と快適性が評価され、訪問機会が増加したこと。 ・広告媒体やテレビ番組等での紹介により、情報が広く拡散され、認知度が向上したこと。 これらの要因が相乗的に作用し、多くの来訪者を呼び込む結果となった。									
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指 標		定 義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価			
				単位		基準年度	目標年度	達成年度				
		美し森来訪者数	人	施設を整備することにより、来訪者が増加する。	12,766 令和元年度	15,000 令和6年度	18,040 令和6年度	目標値を達成できた。				
		その他の指標										
	整備に伴う取り組みの実施状況		本事業の実施にあたり、整備と併せて来訪者の利便性及び満足度の向上を図るための取組を推進した。 内容としては、木製歩道の整備に伴い、県の別事業により木道中腹部に展望デッキを設置し、歩道からの景観を楽しめる空間の創出とともに、高低差のある歩道における休憩スペースとしての機能を持たせることで、来訪者の快適性を向上させた。 また、市の事業として、周辺施設や地域の歴史等を紹介する案内看板を設置し、来訪者が地域の魅力をより深く理解できる環境を整備した。これらの取組は、施設整備と連動した情報提供の充実を図るものであり、来訪者の満足度向上に寄与しており、地域全体の観光資源の価値向上及び来訪者数の増加に貢献している。									
今後の取り組み		次期整備計画においては、今回整備を実施した木製歩道に接続する周辺歩道についても改修を計画している。これにより、歩行環境のさらなる向上を図るとともに、来訪者の滞在時間の延長及び満足度の向上につなげていくことを目指している。										